

第1学年 道徳科学習指導案

1 主 題 名 困難を乗り越え挑戦し続ける A 克己と強い意志

2 主題設定の理由

(1) 価値観

私たちはさまざまな目標をもちながら日々生活しており、目標に向かって自分自身を奮い立たせて活動している。目標に向かって努力する中で、困難や失敗がおとずれた際にも、自らの掲げた目標に着実に到達しようとする実践意欲を育てていきたい。

(2) 生徒観

本学級には、部活動に意欲的に取り組んだり、定期テストに向けて熱心に学習に取り組んだりしている生徒が多くいる。しかし、部活動ではなかなか試合に出られず悔しい思いをしている様子や、テストでは理想通りの結果が出ずに悩んでいる様子が見られる。本教材を通して、困難や失敗を乗り越えて、目標を達成しようとする気持ちをもち続けて挑戦することについて考え、その大切さに気付かせたい。

(3) 教材観

この教材は、カヌー競技で活躍していた瀬立モニカ選手が車椅子生活となった現実を受け入れ、自らを奮い立たせて、パラカヌーへの挑戦を決めるという内容である。理想通りにいかない瀬立モニカ選手の姿を共感的に捉えて、自らが直面する困難や失敗の体験を受け止め、これらを乗り越えることが必要であると実感させたい。

3 本時のねらい

- 夢へと挑戦する瀬立モニカ選手の生き方について考えることを通して、自らの目標に向けて困難に立ち向かい、到達しようとする心情を育てる。

4 準備・教材

- 教材名 「夢への挑戦 パラカヌー」
- 生徒……タブレット端末
- 教師……タブレット端末、振り返りシート、板書用掲示物

5 関 連

- 1年 道徳 「どうせ無理をなくしたい」(夢や希望を諦めない)
- 1年 総合 「福祉について考えよう(パラリンピック教育)」

6 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項
導 入	1 車椅子バスケットに取り組んだときの感想を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・難しかった。 ・腕が疲れた。 ・点が決まったときは嬉しかった。 ・最初はできなくてもできるようになった。 ・車椅子バスケットの選手は大変なのに努力していてすごい。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○車椅子バスケットを体験した時の写真と感想を大型ディスプレイに提示する。 ○車椅子バスケットの体験を本時の内容に結び付ける。 ○瀬立選手が車椅子に乗っている写真を提示する。 ○もともとカヌーでオリンピックを目指していた選手だったことは範読まで伏せておく。

展	2 資料を読み、話し合う。			
	<p>瀬立モニカ選手がパラカヌーに挑戦しようと思ったのはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でもできると思ったから。 →希望 ・協会の人は何度も誘ってくれたから。 →期待 ・カヌーを諦めたくなかったから。 →不屈 ・東京オリンピックで金メダルを取りたいから。 →夢 	14	<ul style="list-style-type: none"> ○瀬立選手がオリンピックで金メダルを狙えた選手であったことを押さえ、挫折を考えさせる。 ○パラカヌーに挑戦したきっかけを複数あげさせることで瀬立選手のさまざまな気持ちを考えさせる。 <p>補 「無理に決まっている。」ととどまったのはどうしてだろう。</p>	
開		<p>自分に負けないためにはどんなことが必要だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見をロイロノート・スクール(株式会社LoiLo、以下「ロイロノート」と表記)の提出箱に提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・根性 ・自分を信じ続けること ・強い意志 ・諦めない心 ・目標をしっかりと決めること ○5人班で意見を共有し、話し合う。 ○班で話し合った意見をロイロノートの提出箱に提出する。 ○班ごとに出た意見を発表する。 	35	<ul style="list-style-type: none"> ○提出された意見を基に、詳しく理由を聞いてみたいものや、気になった考えについて生徒に問う。 <p>補 根性だけでがんばれるのか。 補 結果が出なくても続けられるか。 補 どんなことがあっても諦めずにいられるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな意見に触れながら、自分の中に湧いてきた考えを大切にさせる。 <p>評 困難や失敗を乗り越えて自ら掲げた目標を着実に到達しようとすることの大切さについて考えている。 (発表・ロイロノート)</p>
	3 これからどう生きるかを考える。			
終末		<p>夢に挑戦するとは、どういうことだろうか。今後どうしていきたいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをロイロノートの提出箱に提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・困難や失敗が必ずあるが、諦めずにがんばる。 ・しっかりとした目標、志をもつ。 ・毎日、当たり前のことをやりきる。 	40	<ul style="list-style-type: none"> ○提出箱は無記名の共有状態にしておき、友達の意見が見える状態しておく。 <p>評 夢へ挑戦することについての考えを深めている。 (ロイロノート)</p>
	4 本時の学習をふまえて、自己をみつめる。 ○振り返りシートを記入する。		50	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で感じたことや考えたことを、振り返りシートに自分の言葉でまとめる。 ○近日、パラリンピックの種目であるボッチャの体験をすることを伝える。

7 本時の評価

- 瀬立モニカ選手の生き方について考えることを通して、困難や失敗に直面した自分に負けずに挑戦し続けることの大切さについて考えを深めている。
(発表・ロイロノート)

8 指導の力点

- 日本福祉大学スポーツ科学部と連携し、車椅子バスケの授業を行っているため、そのときの経験や選手の話に触れ、瀬立モニカ選手の困難を想像しやすくした。